

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の方法	評価の観点			配当 時数
				知	思	態	
前 期	・生物は多様でありながら、共通性をもっていることを理解する。 生物の共通性と多様性は、生物の進化の結果であることを理解する。	生物の多様性と共通性	ワークシートの記述内容 実験への意欲的な取り組み 授業への取り組み、定期考査の点数	○	○	○	10
	・生命活動にはエネルギーが必要であることを理解する。細胞の生命活動のエネルギーはATPの形で供給されることを理解する。	エネルギーと代謝	ワークシートの記述内容 実験への意欲的な取り組み 授業への取り組み、定期考査の点数	○	○	○	10
	・呼吸や光合成の過程でATPが合成されることがを理解する。酵素の特徴を理解するとともに、酵素によって生体内に必要な化学反応が行われることを理解する。	呼吸と光合成 実験	ワークシートの記述内容 実験への意欲的な取り組み 授業への取り組み、定期考査の点数	○	○	○	10
	・DNAは2本のヌクレオチド鎖からなる二重らせん構造をしている、遺伝情報はDNAの塩基配列にあることを理解する。 ・DNAが、半保存的に複製され、細胞周期の進行に伴って、DNAが正確に複製され、2つの細胞に分配されることを理解する。	遺伝情報とDNA、遺伝情報の複製と分配 実験	ワークシートの記述内容 実験への意欲的な取り組み 授業への取り組み、定期考査の点数	○	○	○	10
後 期	タンパク質のアミノ酸配列は、DNAの塩基配列によって決まることを理解する。個体を構成する細胞は遺伝的に同一であるが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解する。	遺伝情報の発現	ワークシートの記述内容 実験への意欲的な取り組み 授業への取り組み、定期考査の点数	○	○	○	10
	体内外での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解する。自律神経系と内分泌系による情報伝達によって、からの状態の調節が行われることを理解する。	体内外での情報伝達と調節 実験	ワークシートの記述内容 実験への意欲的な取り組み 授業への取り組み、定期考査の点数	○	○	○	10
	ホルモンと自律神経のはたらきによって、体内環境が維持されていることを理解する。	体内環境の維持のしくみ	ワークシートの記述内容 実験への意欲的な取り組み 授業への取り組み、定期考査の点数	○	○	○	10
	からだに、異物を排除する防御機構が備わっていることを理解する。免疫と病気の関係や、免疫が医療に応用されていることについて理解する。	免疫のはたらき	ワークシートの記述内容 実験への意欲的な取り組み 授業への取り組み、定期考査の点数	○	○	○	8
							合計
							78